

林 務 課

令和4年度

林 務 課

1 概 況

森林は、諏訪湖を取り囲む山地と、八ヶ岳・霧ヶ峰山麓及び釜無山・入笠山山麓等に分布し、カラマツ、アカマツが主要樹種となっている。

管内の森林面積は、50,815ha、森林率 71%（県全体 78%）で、うち民有林は、41,810ha である。なお、主要樹種であるカラマツは、18,385ha で民有林立木地面積の 46%を占めている。

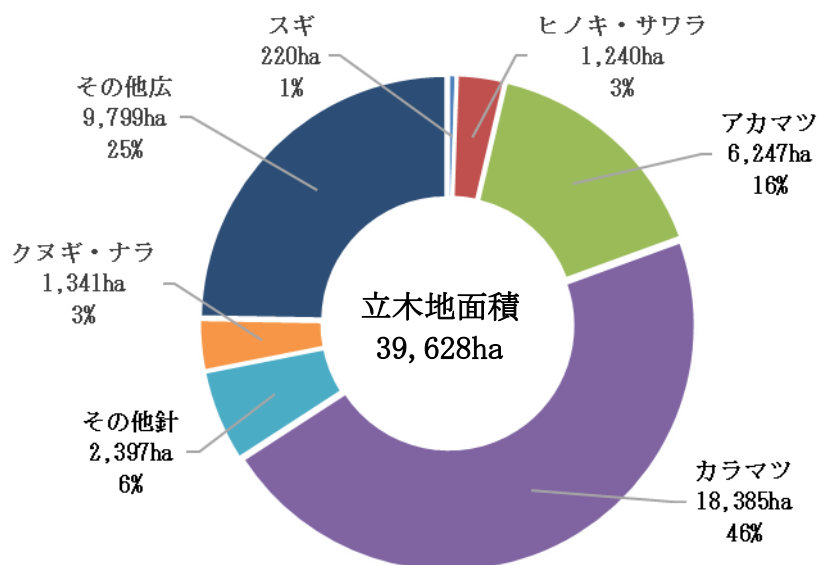
(1) 市町村別森林面積等

(令和3年9月現在)

市町村名	項目	総面積 ha	森林面積 ha	森林率 %	民 有 林	
					面積 ha	蓄積 千m ³
岡 谷 市		8,510	5,698	67	5,678	1,291
諏 訪 市		10,917	7,278	67	7,278	1,466
茅 野 市		26,659	20,078	75	15,108	2,776
下 諏 訪 町		6,687	5,651	85	4,020	826
富 士 見 町		14,476	10,147	70	7,766	1,711
原 村		4,326	1,962	45	1,962	356
計		71,575	50,815	71	41,810	8,426
県 全 体		1,356,160	1,057,037	78	686,988	138,844

(2) 樹種別森林面積（民有林）

(令和3年9月現在)



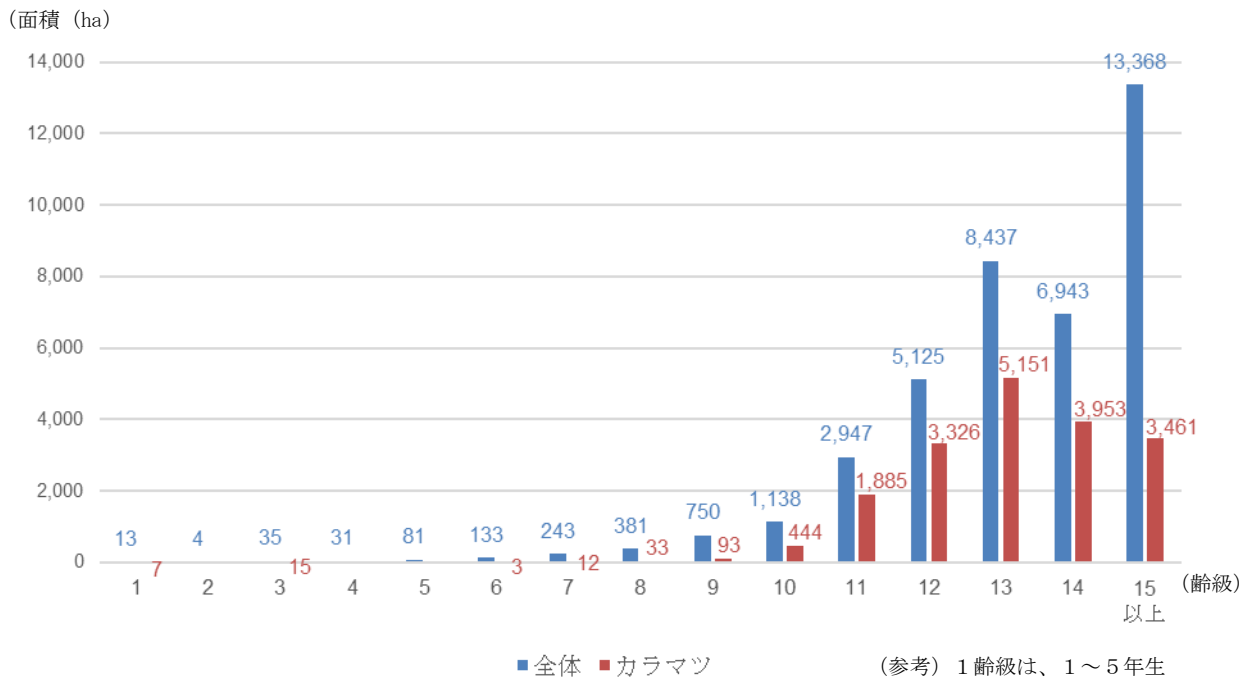
2 健全な森林づくり

管内の民有林は、戦後植林された森林が成熟しつつあり、計画的な間伐と搬出による材の利活用を推進している。

平成 20 年度からは、「長野県森林づくり県民税」を活用した事業を加え、健全な森林づくりに集中的に取り組んでいる。

(1) 民有林の齢級別面積

(令和 3 年 9 月現在)



(2) 間伐実績と目標

(単位：ha)

区分	5 か 年 の 間 伐 実 績						R 3 年度 目 標
	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	計	
管 内	804	747	915	823	701	3,990	700
県全体	13,634	11,314	10,992	9,652	8,821	54,413	

(3) 林業労働力

林業従事者数は 127 人で、森林組合及び素材・造林業（会社）が全体の 60%を占めている。
(単位：者、人)

区 分	森林組合	素材・造林業(会社)	個人林業 営 業 体	NPO法人	建設業 (会社)	合 計
事業体数	1	10	1	1	6	19
比率	5 %	53 %	5 %	5 %	32 %	100 %
林業従事者数	13	64	6	16	28	127
比率	10 %	50 %	5 %	13 %	22 %	100 %

注) 令和2年度林業事業体調査による。

3 森林づくりのための基盤整備

(1) 保安林の面積

(令和3年9月現在)

種別	水源かん養	土砂流出防備	その他	計
			(土崩・防風・水害・干害・保健)	
面積	5,444ha	4,409ha	70ha	9,923ha
比率	54.9%	44.4%	0.7%	100%
民有林面積		41,810ha	保安林率	23.7%

注)長野県民有林の現況(令和3年)による。

(2) 治山事業

保安林の機能を高度に発揮させるため、計画的な実施に努めている。(単位：円)

事業種別	令和3年度 実績		令和4年度 計画	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費
流域保全総合治山			3	189,140,000
復旧治山	2	54,241,000	2	120,000,000
緊急総合治山	(1)	(24,607,000)	(1)	(57,002,000)
緊急予防治山	1	20,009,000		
緊急機能強化・老朽化対策	(1)	(24,728,000)		
水源森林再生対策			(2)	(98,637,000)
奥地保安林保全緊急対策	1	8,008,000		
機能強化・老朽化対策	(1)	(46,926,000)		
災害関連緊急治山			(5)	(376,178,000)
県単治山	9	42,911,000	(2) 4	(23,518,000) 12,500,000
計	(3) 13	(96,261,000) 125,169,000	(10) 9	(555,335,000) 321,640,000

注1) ()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は発注工区数(委託を除く)

注2) 令和3年度補正は、令和4年度計画に含む

注3) 令和4年度県単治山は、4月末時点の確定箇所・事業費

注4) 令和4年度計画の水源森林再生対策事業(繰越)は、令和2年度事故繰越分を含む

(3) 林道事業

林業経営の基盤である林道は、令和 16 年度末で林道密度 14.3m/ha を目標に整備を進めており、令和 2 年度末では 6.1m/ha、進捗率は約 42.7%となっている。

林道網整備長期計画（平成 7～令和 16 年度）

全体計画 林内道路		内 訳 (計画)				令和 2 年度末林道現況		
		林内公道		林 道				
延長	密度	延長	密度	延長	密度	延長	密度	進捗率
m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	%
906,085	21.7	308,653	7.2	597,432	14.3	253,475	6.1	42.7

(単位：円)

事業種別			令和 3 年度 実績		令和 4 年度 計画	
			箇所数	補助対象額	箇所数	補助対象額
補助	林道	改良・ 保全事業	1	3,465,000	(1) 2	(99,176,000) 8,800,000
	林道施設災害	林道復旧	1	47,280,200	(12) 1	(226,414,000) 214,082,000
計			2	50,745,200	(13) 3	(325,590,000) 222,882,000

- 注)・上段()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は路線数 (令和 3 年度改良は委託)
 ・令和 3 年度林道施設災害は委託
 ・令和 4 年度林道施設災害は横河山線が繰越・現年分に工区別れるため両方に箇所数を掲載

4 野生鳥獣被害対策

特定鳥獣管理計画等にもとづき、捕獲及び捕獲個体処理対策、集落周辺の環境整備等を実施し、野生鳥獣による農林業被害の軽減を図っている。

(1) 野生鳥獣による被害額及び捕獲数（狩猟を含む） (単位：千円、頭・羽)

区分		年度					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
カモシカ	被害額	3,413	3,153	3,656	1,637	880	934
	捕獲数	6	8	3	1	0	0
ニホンジカ	被害額	52,884	43,572	36,808	34,391	41,241	41,004
	捕獲数	4,216	3,628	3,533	3,431	3,543	3,788
ニホンザル	被害額	2,055	2,471	2,469	2,363	3,475	2,394
	捕獲数	111	50	46	39	47	58
ツキノワグマ	被害額	0	0	784	465	408	225
	捕獲数	0	0	0	0	0	0
イノシシ	被害額	5,024	1,162	1,008	1,250	1,434	1,526
	捕獲数	88	139	138	148	138	43
その他 獣類	被害額	5,064	6,289	5,996	6,998	5,768	5,875
	捕獲数	375	367	368	399	349	362
鳥 類	被害額	4,717	5,509	8,367	6,959	6,598	6,195
	捕獲数	552	617	555	401	554	344
合計被害額		73,157	62,156	59,088	54,063	59,804	58,153

* 単位以下四捨五入の関係で縦集計は必ずしも一致しない。

(2) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金 (単位：円)

事業種別		令和3年度実績		令和4年度計画(要望額)	
		事業量	補助金額	事業量	補助金額
緊急捕獲活動支援 (農水省交付金)	有害捕獲	2,387頭	17,266,000	3,083頭	22,231,000
	(小計)		17,266,000		22,231,000
広域捕獲支援 (林野庁交付金)	広域捕獲支援	3市町	710,000	3市町	925,000
	(小計)		710,000		925,000
県費単独	大型獣緊急捕獲・放獣 (ツキノワグマ放獣)	13頭	500,500	17頭	651,000
	シカ等個体数調整・捕獲	272頭	675,000	584頭	1,445,000
	集落等捕獲隊活動支援	1市	114,000	1市	200,000
	鳥獣被害対策実施隊員支援	6市町村	394,950	6市町村	482,350
	残渣処理作設経費	0箇所	0	4箇所	200,000
	銃猟者確保・育成支援	0市町村	0	0市町村	0
	(小計)		1,684,450		2,978,350
合計			19,660,450		26,134,350

5 林業生産状況等

令和2年の林業生産額は496,058千円で前年比92%となった。

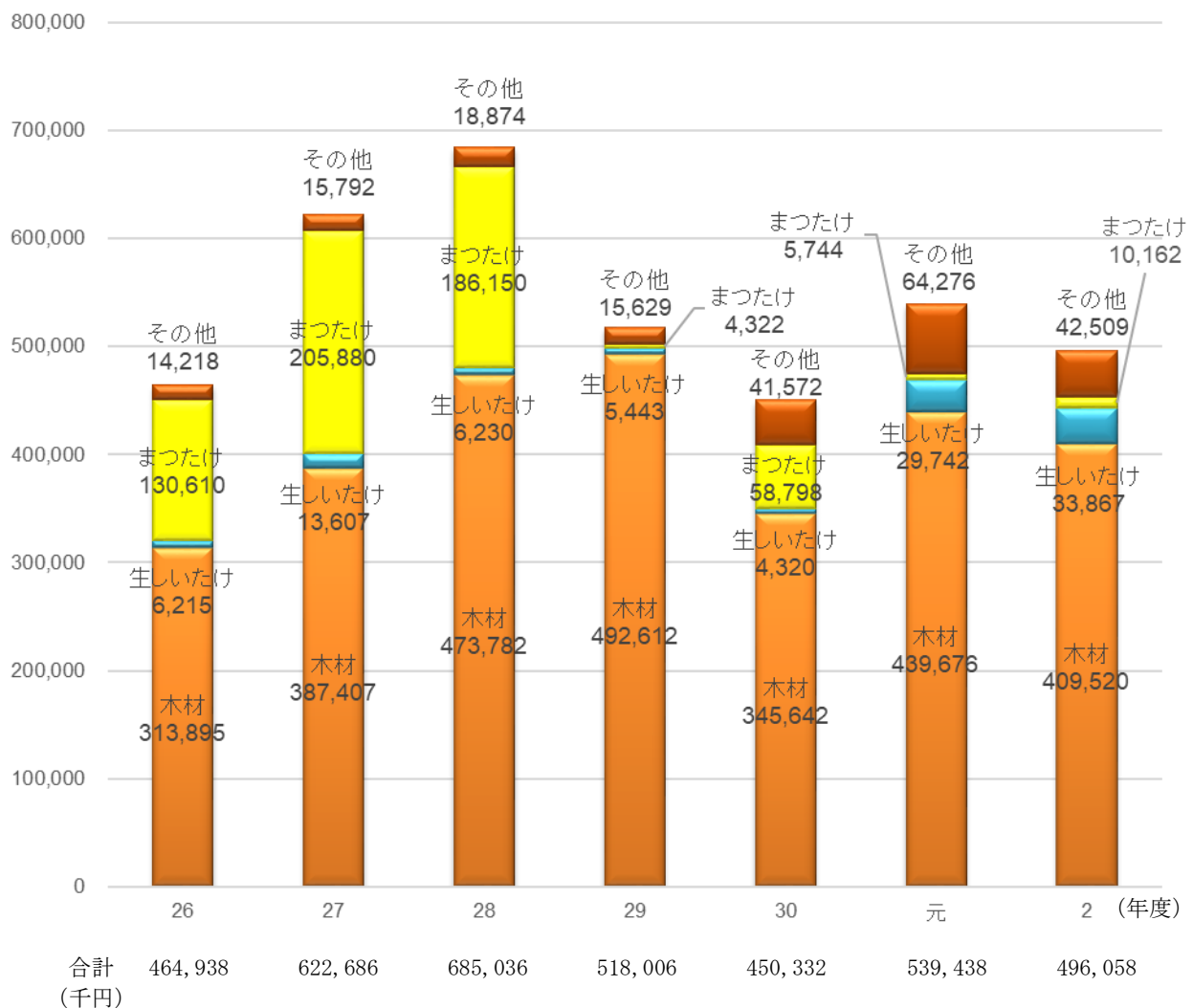
平成元年の木材生産額は、合板需要増などにより回復したが、令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、合板工場の生産調整により需要が減少した。

まつたけは、令和2年も前年に引き続き不作だった。気候条件が整えば豊作が期待できることから、各地でまつたけ山の手入れが盛んに行われている。

(マツタケ収穫量の推移 H29:0.1t、H30:2.9t、R元:0.2t、R2:0.2t)

林業生産額の推移

(千円)



6 森林税活用事業

平成30年度から第3期目の森林税がスタートし、これまでの里山整備に加え、教育や観光等、多面的な森林の利活用に用途を広げ、地域や様々な分野の方々による主体的な里山の整備・利用を推進している。

令和3年度森林税活用事業実績

区分	令和3年度実施内容	箇所・面積・延長等	補助金額
1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備			
防災・減災のための里山等の整備事業	【みんなで支える里山整備事業】 「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所の間伐に要する経費を補助	諏訪振興局管内一円 42ha	22,357千円
	【ライフライン等保全対策事業】 集落や主要なライフライン(道路・線路・電線等)に接する森林において、倒木の恐れのある危険木伐採に要する経費を補助	茅野市、下諏訪町 富士見町、原村	
県民協働による里山の整備・利用事業	【みんなで支える里山整備事業】 里山利用整備地域において、集落周辺の電線や建物に隣接する立木の特殊伐採や撤出間伐等に係る経費について補助	諏訪市北真志野(3年目) 茅野市永明寺山(4年目) 蓼科高原(2年目) 信州ビーナスライン(2年目) 茅野市小泉山(2年目)	R4予算で 実施
	【里山整備利用地域活動推進事業】 里山整備利用地域において、里山整備活動、森林環境教育、薪生産活動、野生鳥獣対策、案内板の設置等に係る経費を補助	諏訪市北真志野(3年目) 信州ビーナスライン(2年目) 茅野市小泉山(2年目)	266千円 336千円 141千円
	【里山資源活用推進事業】 里山整備利用地域において、資機材の購入、林内歩道の整備等に係る経費を補助	茅野市永明寺山(4年目) 蓼科高原(2年目) 茅野市小泉山(2年目)	150千円 826千円 580千円
	地域で進める里山集約化事業	間伐事業実施地の森林所有者の合意形成のための取組に係る経費を補助	茅野市 1地区
河畔林整備事業	【県単河畔林整備事業】(諏訪建設事務所) 県が管理する一級河川と市町村が管理する準用河川の河畔林整備	準用河川 富士見町母沢川 L=70m	1,350千円
2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用			
地消地産による木の香る暮らしづくり事業	【木工体験活動支援事業、木質空間整備事業】 学校における木工など、県産材利用の取組に係る経費を補助	原村保育園	280千円
		ちのせいぼ幼稚園	140千円
薪によるエネルギーの地消地産推進事業	【薪によるエネルギーの地消地産推進事業】 里山資源である薪の地域内循環システムの構築に係る経費を補助	NPO法人 ハヶ岳福祉農園	872千円
3 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用			
森林の教育利用の推進事業	【学校林等利活用促進事業】 学校林の活用を推進するため、放置され利用困難になっている学校林の整備や、学校林を利用した活動に係る経費を補助	茅野市(永明小) 1.5ha	412千円
観光地における景観形成のための森林等の整備事業	【観光地等魅力向上森林景観整備事業】 観光地等の魅力向上を図るため、景観に合致した森林整備等に係る経費を補助	岡谷市(御野立公園)0.04ha	840千円
		諏訪市(神宮寺)0.22ha	445千円
		茅野市(御射鹿池)1.00ha 富士見町(富士見高原)0.42ha	836千円 1,267千円
	【観光地の周辺における街路樹整備事業】 (諏訪建設事務所) 観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備を実施	(主)岡谷茅野線 岡谷市(湊～石舟渡) 街路樹剪定工 L=2.0km N=154本	4,000千円
4 市町村に対する財政調整的視点での支援			
森林づくり推進支援金	森林に関する様々な課題解決のための市町村独自の取組に対する支援	岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村	1,293千円 1,387千円 1,874千円 751千円 1,027千円 540千円
合計			49,186千円